

主催／日本ALS協会山梨県支部
共催／(一社)ライフサポートひかり
山梨県難病・疾病団体連絡協議会

上映会開催決定

2025年11月2日(日) 13:30~16:00 (開場13:00)

会場…東京エレクトロン 韮崎文化ホール (韮崎市藤井町坂井二〇五)



闇夜のような日々——
沈黙を照らすものはあるか？

進行により全身不随にいたる難病ALS (筋萎縮性側索硬化症)
喪失と絶望のただなかを歩く人たちの いのちの旅

杳かなる

監督：宍戸大裕 ナレーション・主題歌：寺尾紗穂

制作：映画『杳かなる』製作委員会 2024年/日本/カラー/124分/ドキュメンタリー

参加をご希望の方は、右のQRコードからお申し込みください。

車椅子をご利用でない方は、お一人ずつお申し込みください。

先着順にて受付いたします。お問い合わせは下記よりお願いいたします。



ぼく「私の声を奪うな
く私をいなかったことにするな」。
たちは 全身の筋力が徐々に弱まり、病状の進行によっ
ては声も失われ、意思を通わせることもむずかしく
なる難病ALS（筋萎縮性側索硬化症）。病を
発症し、生死のはざまに揺れる一人の女性が、
生を証しするように詩を綴る。ある日めぐり合う、
同じ病を生きる先行者。「私もいまも迷いの中に
います」。声を失った男性は、透明な文字盤を
介し生きることを一緒に考えたいと告げ、ふたり
は長い旅をはじめ。3年半にわたる別れと出
会いを、映画スタッフはともにする。
やがて「身体に閉じ込められる」かのように、眼
の動きも微かになる日——。それでも呼びかける
者たちを支えているのは何だろうか？
“私”を失いつづける日々、
言葉がのこされる。
言葉も失われた先で、
人はいのちに触れる。



できなく
なるの
だから
人間が「生きる意味」は、もしかしたら、
人と人とのあいだに灯るのかもしれない。
その人肌ほどの火種があれば、
きっと、人は絶望という闇に抗える。
どうか、静かな呼吸で観てほしい。
この映画が、観る人とのあいだに灯そうとしているものを、
全身全霊で感じ取ってほしい。

——荒井裕樹（文学者・文筆家）

ALSとは？ ALS（筋萎縮性側索硬化症）は、手足
やのど、舌、呼吸を動かす筋肉が徐々に痩せていく病気で
す。進行の速度は患者さんによって異なり、発症からの余
命は3～5年と長らく言われてきました。しかし、現在では呼
吸器や経管栄養などが発達し、数十年にわたって在宅療養
をしながら自分らしい生活を送る患者さんも増えています。

杳かなる — 木の下に日が沈み
「杳」という漢字は、日が木の下に沈む様をあらわし、暗
くてはっきりしない、奥が深い、はるかに遠いという意味
があります。進行性の難病を生きることはこの字があらわ
すように、ときに先の見通しのない絶望の日々です。絶望
の淵に佇ち、ふさぎこんで声も出ない人は何を思うのか。
“死に方”をめぐる議論が先鋭化するいま。誰かと今日の暮
らしを折りかさねる先に、ひられる明日が見えてきます。



監督・構成・編集：安戸大裕/撮影：高橋慎二/音楽：末森 樹/整音効果：永峯康弘/ナレーション：寺尾紗穂/主題歌：「たよりないものために」(作詞・作曲 寺尾紗穂)
宣伝デザイン：アルビレオ/宣伝写真：澄 毅/企画・制作：映画「杳かなる」製作委員会/お問合せ：映画「杳かなる」上映委員会/公式HP：<http://harukanaru.com/>

●定員：70名程度（車椅子利用者歓迎）●費用：無料（寄付大歓迎）
連絡先/日本ALS協会山梨県支部事務局
TEL. 055-267-7261 FAX. 055-267-7263 E-mail. als.yamanashi@eos.ocn.ne.jp

この上映会は、赤い羽根共同募金のご協力をいただいております。

